

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視 察 先	埼玉県伊奈町（伊奈町役場、町制施行記念公園内バラ園）
対 応 者	佐藤弘一町議会議長、議会事務局 森田範仁局長、沼田美由紀局長補佐 都市計画課 渡邊研一課長、元気まちづくり課 斉藤雅之課長、中村純係長
視察日時	令和6年10月23日(水) 13時30分 ～ 15時30分
視察項目	観光振興政策について
視 察 者	大山正弘、石沢祐一、矢萩浩次、柴崎亮太、松倉慶子、森直也
報 告 者	森直也
視察の内容	<p>概要</p> <p>昭和45年に町制を布き、伊奈町となる。埼玉県の中南部、都心から40km圏内という首都近郊に位置している。昭和58年の東北・上越両新幹線の開業にあわせ、その高架を利用した埼玉新都市交通伊奈線（ニューシャトル）が開通し、町内に5つの駅が誕生した。その駅周辺での土地区画整理事業により優良な住宅地が整備され、現在では県内でも有数の人口増加地域となっている。</p> <p>1 伊奈町制施行記念公園内のバラ園の特徴について 面積：14,000 m² (1.4ha) *R5からイベント広場ステージ追加 品種：400種/株数5,000、株 東沢公園の約1/4の規模である</p> <p>2 バラまつりでのイベントなど誘客にむけた取り組みについて バラまつりなどの観光協会が主催するイベントでは、観光協会会員の事業者や団体による催し（ダンスや演奏等）、出店（展）をメインとして企画運営しており、近隣自治体や友好都市等からの出店・PRも実施している。 また、「夜間ライトアップ」やバラ園内で結婚式を挙げる「ローズウェディング」や全国的にも知名度のある伊奈学園総合高校吹奏楽部によるミニコンサート等、誘客力のあるイベントをバラまつり内で実施している。「ドクターヘリの離着陸観覧」や「巨大エアースライド」など誘客に向けた新たな取り組みにもチャレンジしている。 各種SNS等を活用するとともに、報道発表、県庁記者クラブ等への訪問・PR、各種メディアへの直接訪問といった形で観光協会と連携しながら積極的に情報を発信している。</p> <p>3 ばら制定都市会議（ばらサミット）in伊奈について （準備に要した期間と人員、当日来場者数、開催経費など）</p> <p>① 準備期間 ・令和5年6月3日：「第32回ばら制定都市会議 in伊奈」にて「第33回ばら</p>

制定都市会議 in 伊奈」の開催が承認された。

・令和5年8月22日：「ばら制定都市会議 in 伊奈実施本部設置要綱」を制定し、サミットにおける各種事業を検討及び推進するため、実施本部及び準備委員会を設置した。

・令和6年5月28日：ばらサミット終了後、実施本部会議を実施し実施本部及び準備委員会は解散となった。

② 人員：来賓、サミット観覧者、招待者、町職員等計178人

③ 来場者数：有料入場者数 13,483人、無料入場者数 2,691人
合計 16,174人

④ 開催経費：	総事業費	県補助金
令和5年度事業	5,268,560円	2,634,000円
令和6年度事業	2,350,000円	1,000,000円
計	7,618,560円	3,634,000円

4 忠次公レキシまつりでのイベント内容について

(戦チャンバラ合戦、戦国ワークショップなど)

チャンバラ合戦、戦国ワークショップは、(株)IKUSAに委託する形で、特に子ども(親子)向けコンテンツとして実施している。IKUSAスタッフは当日の運営を行うが、衣装や言葉遣いも含め雰囲気が巧みなため、イベント全体が盛り上がる取り組みの一つである。

発掘調査現場の現地説明会は、生涯学習課(教育委員会)の調査担当者の説明を聞くことができ、実際に発掘調査している障子堀の見学もできる。

地元住民を中心とした野菜等の販売や芋ほり体験などを実施し、まつり会場となる伊奈氏屋敷跡を訪れた来場者が伊奈忠次公の功績を感じるとともに、イベントを楽しむように工夫している。

5 観光振興の取り組みによる成果と今後の課題について

町外のイベントに参加することによるPR等も積極的に実施し、まず伊奈町を知ってもらい、来てもらうことで交流人口を図っている。そういったシティセールスを進めることで、バラまつりについては県内最大のバラ園ということで一定の認知度があるイベント・スポットとなっているが、全国的な認知度としてはまだ厳しい部分があると思われる。ばらサミットへの加盟や今年の伊奈町でのサミット開催を契機として、全国的にもさらにPRできるようにする。

また、体験・参加型などの新たなコンテンツが求められており、既存のコンテンツや観光資源の活用とともに、イベント内容をより良く更新できるような仕組みづくりが必要である。

現地視察：町制施行記念公園内バラ園

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視 察 先	埼玉県川口市（東消防署）
対 応 者	門間武彦消防監 浅野剛昭消防指令長 並木宏之消防指令 議会事務局 齋藤新也主任
視察日時	令和6年10月24日(木) 9時30分 ～ 11時00分
視察項目	新たな災害活動拠点「東消防署」について
視 察 者	大山正弘、石沢祐一、矢萩浩次、柴崎亮太、松倉慶子、森直也
報 告 者	森直也
視察の内容	<p>概要</p> <p>市制施行 90 周年という節目の年に川口市消防局に3つ目の新たな消防署として東消防署を開署しました。東消防署の整備により、迅速かつバランスの取れた災害対応が可能になるとともに、市中心部に立地する地理的優位性を活かすことにより、管内のみならず、市全体としての現場到着時間の短縮が図られ、複雑多様化する災害への即応体制が強化されるなど、災害対応能力の充実が図られるものである。また、東消防署の設置に伴い、立入検査等の査察部門を充実させ、災害予防体制を強化するほか、届出窓口も充実することで、市民サービスが向上するものである。</p> <p>1 地下タンクに軽油 3000ℓ の貯蔵で、自家発電による署内の電気は 何時間確保可能か</p> <p>屋上にサービスタンク 9 5 0 ℓ も備えており、設計上約 1 2 5 時間となる。</p> <p>2 自家発電による署内の電気は主にどの設備に使用しているか</p> <p>主な動力負荷は出動シャッター、上水ポンプ、送油ポンプ、事務所の 1/2 をカバーするエアコン、仮眠室を適温に維持できる程度のエアコン等、主な電灯負荷は井水ポンプ（トイレがすべて使用可）、指令系統すべて、一部を除く証明、コンセントのすべて、ガス系制御、他となる。</p> <p>3 地下タンクの軽油の更新はどのように行っているか</p> <p>災害時の自家発電用として貯蔵しているほか、車両への燃料補給も視野に入れ整備をする。そこで平時から災害用ポータブルディスペンサー（可搬式給油機）の取り扱い及び点検を兼ね、車両等への補給をすることで年間約 1, 000ℓ を消費・補給することで、3 年毎にタンク内の燃料が循環するよう計画を定め実施している。</p>

4 購入ではなくレンタル又はリース物品はあるか
あるとすればどのようなものか (ex. 高圧空気容器、救命胴衣)
AED (施設用・消防隊用各1) 2台、連絡車 (軽) 2台、電子複写機1台、
寝具1式 (布団乾燥機を含む) をリースしている。

5 床上・床下浸水などの災害時の土嚢はどのように準備しているか
また、設置はどのように対応しているか
各所属のストック数から判断し、出水期前に新たに川砂を購入し土嚢を作成し
ている。令和6年10月1日現在、東消防署内の4施設で約2,000帯の土嚢を保
管している。また、台風の接近等に伴い予想される水害に対して、市民の自助、
地域での共助のもと、予防対策として必要な土嚢を1世帯10袋程度を限度とし
て無償で提供する取り組みを行っている。

署内視察

消防庁舎、訓練施設・災害対策施設、はしご車試乗

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視 察 先	茨城県境町（道の駅さかい）
対 応 者	倉持功町議会議長 (株)さかいまちづくり公社 新井伴明課長 齋藤真琴観光マスター
視察日時	令和6年10月24日(木) 14時30分 ～ 16時30分
視察項目	移住・定住政策について
視 察 者	大山正弘、石沢祐一、矢萩浩次、柴崎亮太、松倉慶子、森直也
報 告 者	森直也
視察の内容	<p>1 子育て支援の取り組みについて（事業概要、子育てに関する予算など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児用品の購入助成：最大3万円のクーポン券を支給 ・月の保育料：最大3万2千円 ・給食費半額、三人目は無料 ・20歳までの医療費助成 ・町内全小中学校で先進英語教育無料 ・第三子以降の出産奨励金50万円 ・子育て、新婚世帯の定住支援奨励金50万円 等 <p>2 住まいに関する施策について（マッチング、空き家対策を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PFI「(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間企業の持つ経営ノウハウや資金を活用することで、低廉かつ良質な公共サービスを提供することを目的とした公共事業の手法」を活用し、子育て世代を主軸とした中堅所得者向け定住促進住宅を利便性の高い地区に供給するもの。これにより快適な住まいを創出し、境町の定住人口の増加や地域の活性化を図るなど、特に以下の4点に配慮して事業を行う。 1) 良質なサービスの提供及びコストの縮減 2) 周辺環境との調和 3) 地域経済の活性化等 4) 子育て支援 ・建設費の概ね50%は社会資本整備総合交付金を充当し、残り50%は民間事業者が資金を調達する。 ・町は入居後の家賃収入に中から、建設費及び維持管理費を30年間で分割して民間事業者に支払う。

3 地域公共交通について（自動運転バス、高速バスの利用状況など）

◎地域での効果

- ・買い物に行けるようになった
- ・塾の送り迎えがいなくなった
- ・免許を返納しても生活できる見通しがついた
- ・境町に来る人が増えた
- ・東京駅行き的高速バスと接続で交通が便利になった

◎経済効果はおよそ7億円

4 移住定住の取り組みの成果について

住みやすいまちづくりが広がることで、町民の安心感が増し移住者が増え、にぎわいが増し、様々な財源確保により新たな町民サービスができる好循環である

- ・借金（地方債残金）172億円が150.6億円に減っている
- ・貯金（基金残高）7.1億円が43.1億円に増えている
- ・将来負担比率65%で将来の借金が減っている

町内視察

自動運転バスに乗車し、「アーバンスポーツパーク」「人口サーフィン場」「ホッケーフィールド」等を視察する。

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視 察 先	上尾市・AGECOCO
対 応 者	持田ゆりえ所長 佐藤仁課長 松木ヒロシ次長 議会事務局 和田一駿主任
視察日時	令和6年10月25日(金) 9時45分 ～ 11時30分
視察項目	子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO」について
視 察 者	大山正弘、石沢祐一、矢萩浩次、柴崎亮太、松倉慶子、森直也
報 告 者	森直也
視察の内容	<p>概要</p> <p>保育所、発達支援相談センター、つくし学園を併設した「子ども・子育て支援総合施設」である。子どもたちが、交流を通じて多様性を認め合い、豊かな人間性が育まれることを目的として令和5年4月1日に開設した。</p> <p>「AGECOCO」：上尾の子どもとして子どもたちが多様性を認め合う「上尾の子」、豊かな人間性（心）「上尾の心」、ひよこのような育まれているイメージ「ここ」という想いが込められている。</p> <p>1 設立の経緯や目的について</p> <p>西上尾第一保育所、西上尾第二保育所の老朽化の課題があった。一方、発達支援相談センターでは、つくし学園の定員超過と施設の老朽化のほか、所在地が市の北西寄りであったことから、通園バスの送迎に時間がかかっていることと、相談支援・地域支援を担当するグループとつくし学園が離れていた場所で、分散した業務を行っている課題があった。</p> <p>また、つくし学園から公立保育所を訪問し交流保育を実施していたが、保育所とつくし学園の子どもたちが日常的に交流を図り、ともに育ちあえる環境を整備することにより、効率的かつ効果的な交流保育を推進させたいねらいもあった。</p> <p>これらのことにより4施設を統合した新たな複合施設を整備するように計画したものである。</p> <p>2 構想から設立までの市民との関わり方（意見聴取など）について</p> <p>関係各課で協議のうえ基本設計を進めながら、地元住民に対する説明会を実施した。特に反対意見はなく、通行車両や安全対策についての意見が出された。</p> <p>移転となる施設の利用者に対しては、複合化の検討時点から段階的に説明を開始し、意見聴取を行ってきた。</p>

3 設立前後での各施設の利用者数などの状況（推移）について

【大谷西保育所】

閉所時、西上尾第一保育所（令和5年3月末閉所）の利用児童数は50人、西上尾第二保育所（令和3年3月末閉所）の利用児童数は60人。大谷西保育所は令和5年4月の開所時の利用児童数は66人で、現時点では88人である。

【発達支援相談センター】

（児童通園担当・つくし学園）

令和5年3月末の在籍児童数は50人、令和6年3月末は67人、現在は67人（相談支援担当）

親子教室入室児童数は令和4年度161人、令和5年度146人。

発達訓練相談利用延べ人数は令和4年度1,999人、令和5年度1,998人である。

4 複合施設の設備面での特徴について

- ・インクルーシブ遊具を園庭に設置し、障害の有無に関係なく誰もが一緒になって遊ぶことが可能。
- ・園庭、ラウンジのほか、更衣室、洗濯室などを共有するにより、スペースを有効活用。
- ・給食の一括調理、提供による効率化の実現及びコストの削減。
- ・熱中症対策として、園庭にミストシャワーを設置。
- ・広いベランダやウッドデッキを活用して、外遊びの代替が可能。
- ・太陽光パネルを設置し、玄関ホールのモニターで発電電力の確認が可能。
- ・出入口に体温センサーを設置し、玄関ホールのモニターで確認可能。
- ・広い共有ラウンジで照明の色を四季や行事などに合せた光色切替が可能。

施設内視察

- ・上尾市立大谷西保育所
- ・発達支援相談センター
- ・児童発達支援センターつくし学園